

- 問1 7世紀初頭、聖徳太子らが進めた国家づくりにおいて、大陸から伝わった仏教が果たした役割とその文化的な特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 遣隋使の派遣などを通じて大陸の優れた技術や思想が伝わり、法隆寺などの本格的な寺院が建立された。 | 2. 大宝律令の制定により全国が統治され、国家の安泰を願って東大寺に大仏が造られた。 | 3. 稲作の技術とともに青銅器や鉄器が伝わり、卑弥呼が中国の魏から金印を授かった。 | 4. 遣唐使が廃止されたことにより、日本の気候や生活に合わせた独自の貴族文化が発達した。 |
|--|--|---|--|
- 問2 飛鳥時代に聖徳太子が小野妹子を遣隋使として派遣した際、当時の日本（倭）が目的としていたことや、外交上の姿勢として正しい説明はどれか。 (2016年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 唐の優れた律令制度を学ぶために、阿倍仲麻呂などの留学生を送り込み、国内の法整備を急いだ。 | 2. 中国の進んだ文化や制度を取り入れるとともに、従来の形式にとらわれない対等な立場での外交を目指した。 | 3. 後漢の皇帝に朝貢して金印を授かることで、九州地方にある奴国の支配力を強めようとした。 | 4. 魏の皇帝から「親魏倭王」の称号を得ることで、その武力を背景に邪馬台国による連合を維持しようとした。 |
|---|--|---|--|
- 問3 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）は天皇中心の国づくりを進めるため、当時中国を統一していた隋に使節を派遣しました。この使節の代表として大陸へ渡り、進んだ制度や文化を日本に持ち帰る役割を担った人物は誰ですか。 (2024年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|-------|-------|
| 1. 中大兄皇子 | 2. 小野妹子 | 3. 空海 | 4. 鑑真 |
|----------|---------|-------|-------|
- 問4 672年に起こった皇位継承をめぐる最大の内乱である壬申の乱において、大友皇子を破って即位し、天皇を中心とする強力な中央集権体制の基礎を築いた人物を答えなさい。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 天智天皇 | 2. 桓武天皇 | 3. 持統天皇 | 4. 天武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問5 7世紀前半に法隆寺の造営や釈迦三尊像の制作が行われた背景として、当時の政治的な動きを説明したものとして適切なものはどれか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 白村江の戦いで敗北後、国防を強化するために寺院を砦として活用しようとした。 | 2. 聖徳太子（厩戸王）や蘇我氏が仏教を重んじ、国家の基盤を整えようとした。 | 3. 遣唐使が廃止され、日本独自の文化を形成しようとする機運が貴族の間で高まった。 | 4. 班田収授法によって税収が安定したため、大規模な国立の寺院を全国に建立した。 |
|--|--|---|--|
- 問6 7世紀、日本では中大兄皇子らが政治改革を進める一方で、朝鮮半島の情勢変化に対応した外交が行われました。唐によって滅ぼされた友好国の再興を支援するために倭（日本）が朝鮮半島へ大軍を派遣した出来事について、その目的と対戦相手の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|--------------------------------|
| 1. 高句麗の再興を支援するため、唐・新羅の連合軍と戦った | 2. 新羅の領土拡大を阻止するため、唐の軍隊と単独で戦った | 3. 百済の再興を支援するため、唐・新羅の連合軍と戦った | 4. 百済の再興を支援するため、元（モンゴル）の軍隊と戦った |
|-------------------------------|-------------------------------|------------------------------|--------------------------------|
- 問7 7世紀後半、朝鮮半島において唐と結ぶことで百済や高句麗を滅ぼし、半島を初めて統一した国を選びなさい。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|--------|------|
| 1. 百済 | 2. 新羅 | 3. 高句麗 | 4. 隋 |
|-------|-------|--------|------|
- 問8 645年、中大兄皇子や中臣鎌足らが蘇我氏をたおしたことをきっかけに始まった政治改革では、どのような国家体制を目指したか。最も適切なものを選びなさい。 (2019年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1. 武士が政治の実権を握る封建的な仕組み | 2. 天皇を中心とした中央集権的な国づくり | 3. 外国の王をトップに据えた国際的な統治 | 4. 有力な豪族による合議制に基づいた政治 |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
- 問9 7世紀初めに聖徳太子（厩戸皇子）によって現在の奈良県に建立された、世界最古の木造建築物として知られる寺院を次の中から選びなさい。 (2024年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 法隆寺 | 2. 東大寺 | 3. 中尊寺 | 4. 延暦寺 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問10 飛鳥文化における寺院建立の背景について、当時の政治状況と関連付けて説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 国ごとに国分寺や国分尼寺を建立することを命じる詔が出され、地方豪族が競って寺を建てた。 | 2. 遣唐使によってもたらされた最新の浄土信仰が民衆の間に広まり、現世利益を求めて建立が急増した。 | 3. 源平の争乱によって焼失した旧来の寺院を再建するため、重源らが東大寺の勧進を行ったことで広まった。 | 4. 聖徳太子や蘇我氏が、仏教を国家統治の柱として導入し、自らの権威や先進性を国内外に示すために建立した。 |
|--|---|---|---|
- 問11 663年に朝鮮半島の西南部の海域で発生した「白村江の戦い」とその後の日本の動向について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|---|
| 1. 女真族の侵入をきっかけに、朝廷は遣唐使の派遣を完全に停止した | 2. 元の軍勢を暴風雨の助けを借りて退け、これを機に武士の力が強まった | 3. この戦いに勝利したことで、日本は朝鮮半島南部での影響力を強めた | 4. 唐・新羅の連合軍に敗れた後、唐の侵攻に備えて防人や烽（とぶひ）を配置した |
|-----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|---|
- 問12 飛鳥時代、聖徳太子の命を受けて中国（隋）へ渡り、当時の進んだ制度や文化を吸収しようとした人物は誰か。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|----------|---------|
| 1. 鑑真 | 2. 最澄 | 3. 阿倍仲麻呂 | 4. 小野妹子 |
|-------|-------|----------|---------|
- 問13 7世紀の朝鮮半島では、唐と新羅が結んで周辺諸国へ勢力を拡大していました。この際、唐・新羅の連合軍によって滅ぼされた国を復興させるため、倭（日本）が救援軍を派遣した国はどこですか。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-----------|--------|
| 1. 百済 | 2. 新羅 | 3. 伽耶（加羅） | 4. 高句麗 |
|-------|-------|-----------|--------|
- 問14 663年、倭（日本）は滅亡した友好国を復興させるため、朝鮮半島の白村江へ大規模な水軍を送りました。この戦いにおいて、日本・百済遺臣の連合軍が対戦した相手となる2つの国の組み合わせとして正しいものを選んでください。 (2025年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 隋と新羅 | 2. 唐と新羅 | 3. 唐と高句麗 | 4. 元と高麗 |
|---------|---------|----------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 遣隋使の派遣などを通じて大陸の優れた技術や思想が伝わり、法隆寺などの本格的な寺院が建立された。	飛鳥時代には、小野妹子ら遣隋使が派遣され、大陸の高度な文明が積極的に導入されました。これに伴い、寺院建築の技術や彫刻の技法ももたらされ、それまで日本になかった本格的な仏教文化が飛鳥の地を中心に花開きました。他の選択肢にある国風文化は平安時代、大仏建立は奈良時代（天平文化）、卑弥呼は弥生時代の出来事です。
問2	答え 2 中国の進んだ文化や制度を取り入れるとともに、従来の形式にとらわれない対等な立場での外交を目指した。	聖徳太子による遣隋使の派遣は、進んだ制度や仏教文化を導入する目的のほか、中国の皇帝に対して対等な立場で国交を結ぼうとした点に大きな特徴があります。阿倍仲麻呂は後の時代の「遣唐使」に同行した人物であり、奴国や卑弥呼の事例はより古い時代の外交目的です。
問3	答え 2 小野妹子	聖徳太子は、当時の先進国であった隋の優れた政治体制や仏教文化を取り入れることで、日本の国家としての地位を高めようとしてしました。小野妹子はその代表的な使節（遣隋使）として抜擢され、対等な外交を目指す国書を携えて海を渡りました。これにより、後の大化の改新などにつながる重要な知識や技術が日本にもたらされました。
問4	答え 4 天武天皇	天智天皇の死後、その弟である大海人皇子が、天皇の子である大友皇子を武力で倒した出来事を壬申の乱と呼びます。勝利した大海人皇子は天武天皇として即位し、有力豪族を抑えて天皇に権力を集中させる中央集権的な国家体制へと大きく転換させました。
問5	答え 2 聖徳太子（厩戸王）や蘇我氏が仏教を重んじ、国家の基盤を整えようとした。	当時の有力な政治指導者であった聖徳太子や蘇我馬子は、新しく伝来した仏教を積極的に受け入れ、それを国の統治の理念や新しい技術の導入に役立てようと考えた。この政治的な背景が、飛鳥文化という大規模な仏教文化の開花につながった。
問6	答え 3 百済の再興を支援するため、唐・新羅の連合軍と戦った	660年に唐と新羅の連合軍によって百済が滅ぼされると、倭（日本）は友好国であった百済の遺臣から救援を求められました。中大兄皇子は百済を再興させるために朝鮮半島へ大軍を送りましたが、663年に白村江（はくすきのえ）で唐・新羅の連合軍と衝突し、倭の水軍は壊滅的な打撃を受けて大敗しました。この敗北は、その後の日本の国内体制の整備や防衛強化に大きな影響を与えました。
問7	答え 2 新羅	4世紀頃から高句麗、百済、新羅の3国が勢力を争う三国時代が続いていましたが、7世紀に唐と結んだ新羅が660年に百済、668年に高句麗を相次いで滅ぼしました。その後、新羅は共同で戦った唐の勢力も退け、676年に朝鮮半島の統一を成し遂げました。
問8	答え 2 天皇を中心とした中央集権的な国づくり	蘇我氏を打倒した後に始まった大化の改新は、それまで有力豪族が持っていた権力を集約し、天皇を中心とした新しい国づくりを目指すものでした。この改革により、土地や人民を国家が直接支配する「公地公民」などの制度が整えられていきました。
問9	答え 1 法隆寺	聖徳太子が建立したこの寺院は、現存する世界最古の木造建築群であり、当時の仏教文化の高さを示しています。これに対し、東大寺は8世紀に聖武天皇が、中尊寺は12世紀に藤原清衡が、延暦寺は9世紀初めに最澄がそれぞれ建立したものです。
問10	答え 4 聖徳太子や蘇我氏が、仏教を国家統治の柱として導入し、自らの権威や先進性を国内外に示すために建立した。	当時の政治の中心人物であった聖徳太子や蘇我馬子は、中国や朝鮮半島からの渡来人の技術を活用し、仏教を基盤とした国造りを目指した。寺院の建立は、単なる宗教施設としての役割だけでなく、優れた建築・工芸技術を持つ文明国であることを示す象徴でもあった。
問11	答え 4 唐・新羅の連合軍に敗れた後、唐の侵攻に備えて防人や烽（とびひ）を配置した	白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗北した日本は、大陸からの報復を強く警戒しました。そのため、九州の防衛のために防人を置き、急を知らせるための烽（のろし）のネットワークを整備しました。また、天智天皇は都を内陸の近江大津宮へ移すなど、国家の防衛と中央集権化を加速させました。選択肢にある元の侵攻（元寇）や女真族の侵入（刀伊の入寇）は、いずれも白村江の戦いよりも後の時代の出来事です。
問12	答え 4 小野妹子	聖徳太子は、中国の進んだ制度や仏教文化を直接学ぶことで、天皇を中心とした国づくりを進めることを目指しました。そのために派遣されたのが遣隋使であり、小野妹子はその代表的な人物です。これにより、日本は中国との対等な外交関係を模索しつつ、律令国家の礎となる知識を得ることができました。
問13	答え 1 百済	飛鳥時代、朝鮮半島では新羅が唐と結んで勢力を強め、660年に百済を滅ぼしました。日本（倭）は古くから交流のあった百済の遺民から救援を求められ、中大兄皇子らの指揮のもと、百済復興のために大軍を送りました。しかし、663年の白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗し、百済復興の計画は失敗に終わりました。
問14	答え 2 唐と新羅	6世紀から7世紀の朝鮮半島では、高句麗・百済・新羅の3国が対立していました。新羅は中国の唐と結んで660年に百済を滅ぼし、その後、日本は百済の復興を支援するために出兵しましたが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗しました。元と高麗の組み合わせは13世紀の元寇（文永・弘安の役）の際の説明です。